

川崎市定期能

宴シリーズ第二弾

華やぎ、悲しみ、駆け引き——
能に映し出される「宴」のさまざま能「紅葉狩」
角当行雄

能

紅葉狩

鬼揃 角当 直隆
(観世流梅若会)

狂言

昆布売

三宅 近成
(和泉流)

第二部

15時30分開場
16時00分開演

能

井筒

カケリ入 角当 行雄
(観世流梅若会)

狂言

福の神

三宅 右近
(和泉流)

第一部

12時30分開場
13時00分開演

能「井筒」角当行雄

2025年

12月13日土

会場：川崎能楽堂

入場料(全席指定)：各部 正面席5,000円、脇正面・中正面席4,500円 | U25 3,000円※

●チケット発売 2025年 10月27日(日) 10:00より発売

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。
25歳以下の方。

販売方法

※取扱い座席は
全て共通

電話申込

インターネット
申込

窓口申込

※10月28日から

①川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 (10:00~17:00、水曜定休日)

②カンフェティ TEL.050-3092-0051 (平日10:00~17:00)

※②は席種のみ指定可。座席選択はできません。

※①・②共にセブンイレブンでの支払・受取です。別途システム利用料、決済手数料、発券手数料が掛かります。

カンフェティ GETTIIIS https://www.confetti-web.com/@/kbz_noh136

※支払は、クレジット決済、セブンイレブン支払が選択できます。

※チケット受取は、セブンイレブン受取、チケットれすQ(電子チケット)が選択できます。

※別途システム利用料、決済手数料、発券手数料が掛かります。

川崎能楽堂 川崎市川崎区日進町1-37 (10:00~17:00、水曜定休日)

※残数があれば 10月28日(火) 10:00より販売いたします。

※支払いは現金のみになります。

主催：公益財団法人 川崎市文化財団

〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー 5階 電話. 044-272-7366 FAX. 044-544-9647

後援：「音楽のまち・かわさき」推進協議会

※開演後はご入場いただけない場合がございます。また、都合により、日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。

川崎市定期能 事前講座

能を代表する形式「夢幻能」の世界観や、「酒宴」と能の関係などを
やさしく解説。各演目の奥深い魅力を探ります。

日時：11月15日土 13:30~15:00

会場：川崎能楽堂

講師：角当直隆(観世流梅若会シテ方能楽師)

料金：500円

※第136回川崎市定期能のチケット購入者は無料

事前講座申込フォーム



第一部

13時00分開演(12時30分開場)

15時00分頃終演

狂言 福の神

シテ 福の神 三宅 右近

アド 参詣人 三宅 右矩
小アド 参詣人 金田 弘明

前シテ 里女
後シテ 紀有常の娘の霊

角当 行雄

能 井筒

ワキ 旅僧 福王 和幸

大鼓 亀井 洋佑
小鼓 観世新九郎

笛 八反田智子

カケリ入

アイ 里人 三宅 近成

後見 川口 晃平
山中 逞晶

地謡 鷹尾 雄紀 馬野 正基
坂 友正 山崎 正道
真太郎 鈴木 啓吾

◇ あらすじ

狂言 福の神 (ふくのかみ)

大晦日に神社で豆まきをするのを恒例としている二人の男が、福の神を祭る社へ出かけます。二人が参拝し、年越しの豆をまいてみると、福の神(シテ)が現れます。福の神は二人に酒をふるまうように要求し、応える二人に幸福になる秘訣を伝授します。

能 井筒 カケリ入 (いづつかけりいり)

旅の僧(ワキ)が、奈良から初瀬へ行く途中、在原寺に立ち寄り、業平と妻の紀有常の娘を弔っていると、一人の里女(前シテ)が現れ、井戸の水を汲んで古塚に向かっています。僧が不思議に思いついて尋ねると、女が業平の墓であると教えるので、業平ゆかりの者かとたずねると、女は否定をしつつも次のような事を語ります。業平は紀有常の娘と契りながらも、一時、高安の里の女の許に通っていたが、自分の身を案じてくれる妻の心にくれたて、元に戻った話や、幼い頃、この井筒のそばで二人遊びたわむれたが、幼なじみの親しさが恋になり、歌を詠みかわし夫婦になった話などをします。そして、自分こそ井筒の女と呼ばれた有常の娘だと名乗って、井筒の陰に姿を消します。僧は回向をして、仮寝をすると井筒の女の霊(後シテ)が、業平の形見の衣裳をつけて現れ、舞を舞い、業平の面影をなつかしみますが、やがて夜明けとともにその姿は消え、僧の夢も覚めます。

第二部

16時00分開演(15時30分開場)

17時35分頃終演

狂言 昆布売

シテ 昆布売 三宅 近成

アド 大名 三宅 右矩

前ツレ 侍女 山中 逞晶
後ツレ 鬼女 谷本 健吾

松山 隆之

前シテ 貴女 角当 直隆
後シテ 鬼女

能 紅葉狩

ワキ 平維茂 福王 和幸

大鼓 亀井 洋佑 太鼓 大川 典良
小鼓 観世新九郎 笛 八反田智子

鬼揃 ワキツレ 勢子 村瀬 提
ワキツレ 勢子 村瀬 慧

アイ 供女 高澤 祐介
アイ 末社ノ神 前田 晃一

後見 遠藤 喜久
山崎 正道

地謡 山崎 友正 木原 康之
坂 真太郎 梅若 紀彰
馬野 正基 松山 隆雄

◇ あらすじ

狂言 昆布売 (こぶうり)

共も連れず、みずから太刀を持って出かけた者(アド)が、通りかかった若狭の小浜の昆布売(シテ)に声をかけ同行を強いられます。脅されて太刀まで持たされ、従老扱いされた昆布売はやがて腹立たしくなり、すきを見て太刀を抜き、逆に脅して腰の小刀を取り上げ、昆布を売ること強要します。

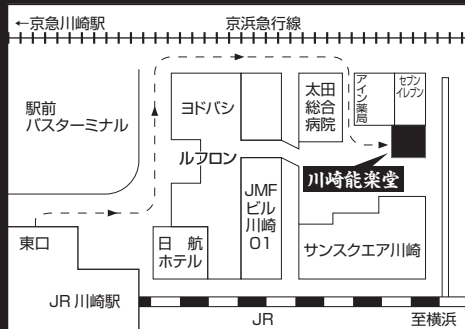
宴 シリーズ公演回

能 紅葉狩 鬼揃 (もみじがりにおにごろえ)

秋も半ばの頃、信濃国(長野県)戸隠山へ、とある貴女(前シテ)が数人の侍女(ツレ)を連れて、紅葉狩にやって来て、山陰で酒宴を始めます。そこへ、鹿狩りに来た平維茂(ワキ)とその従者(ワキツレ)が通りかかります。女達は維茂を引き留め、酒宴を共にするように誘います。維茂は断りかね、勧めに応じて盃を重ね、美女のまう見事な舞に見とれます。いつしか酔がまわって、維茂は寝入ってしまいます。女達はそれを見届けると、鬼の本性を現し、「目を覚すな」と言い捨てて、山中に姿を消します。(中入)すると八幡八幡宮の末社の神(アイ)が維茂の前に現れ、神剣を授け鬼神を退治するよう神勅を伝えます。目を覚した維茂は神剣を押しいただき、身支度をして待ち構えます。そして正体を現した鬼女(後シテ)が襲いかかって来ます。維茂は刀を抜いて応戦、烈しい格闘ののち、ついに鬼女を斬り伏せます。

2025年度の「宴」シリーズでは、年間3公演を通して、能に映し出される「宴」の諸相をお届け。第二弾では「紅葉狩」を上演します。

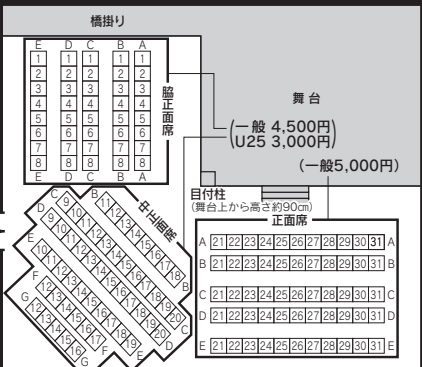
川崎能楽堂 案内図



JR川崎駅東口より徒歩5分
■ アクセス (JR川崎駅まで)
品川駅より約9分 | 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂 (9:00~17:00 ※水曜定休日)
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL. 044-222-7995 FAX. 044-222-1995



川崎能楽堂 座席表 (148席)



*U25券は脇正面席・中正面席のみ選択可。
購入時に身分証明書をお持ちください。
*C列、E列は前の列より一段高くなっています。
*中正面席の前には目付柱(舞台上から高さ約90cm)があり、座席によっては少し見えにくい場合がございます。

川崎能楽堂 次回公演のお知らせ

野村万蔵による芸能サロン
「狂言を楽しもう」
開催日: 2026年1月17日(土)
演出: 解説 野村万蔵
狂言 三本柱 野村万蔵
狂言「無布施経」野村万蔵
チケット発売: 12月8日(月)より発売(先着順)
【第三回】川崎市定期能(観世流)
「宴」シリーズ第三弾
開催日: 2026年3月14日(土)
演出: 【第一部】「俊寛」観世恭秀
【第二部】「十手」田邊哲久ほか
チケット発売: 2026年1月下旬予定
※都合により日時、内容、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。